

■リーグ名：四国アイランドリーグplus

■リーグ理事長：坂口 裕昭

■運営会社名：株式会社IBJ

■代表者名：小崎 貴紀

■社員数：3名

■主要株主：コンカラー(株)、データスタジアム(株)、四国電力(株)、
四国旅客鉄道(株)ほか

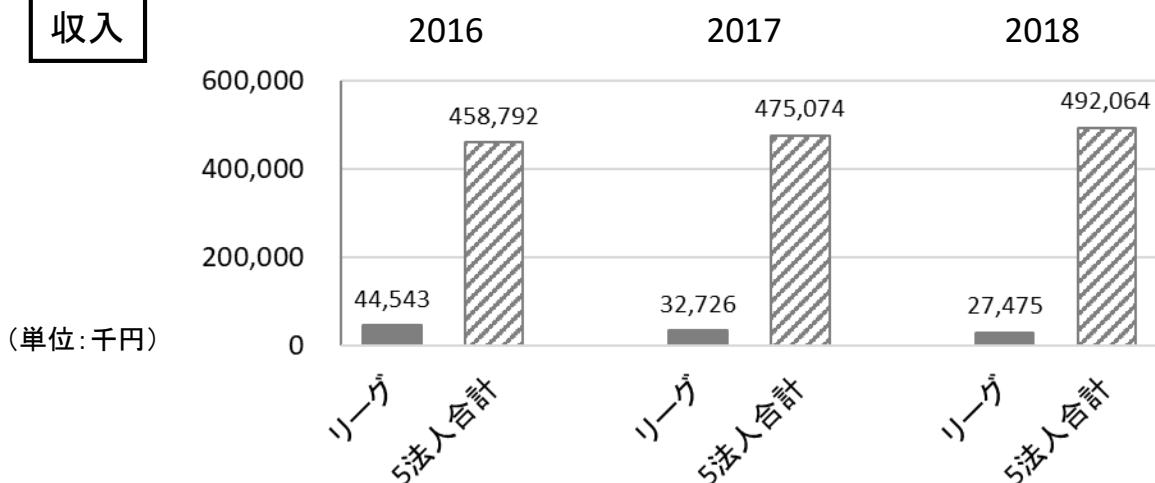
■主要スポンサー名：(株)トリドールホールディングス、(株)ダスキン、(株)伊藤園、
アサヒビール(株)ほか

■NPB実績：選手：62名【ドラフト本指名19名、育成指名35名、復帰・移籍8名】

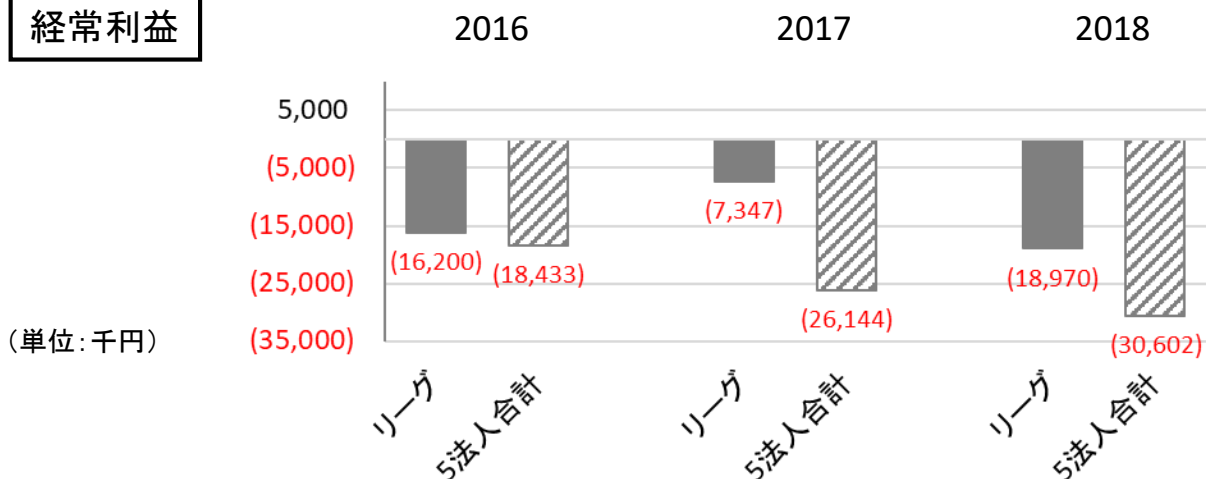
指導者：16名、審判：13名、球団スタッフ(BP、BC、スカウトほか)30名

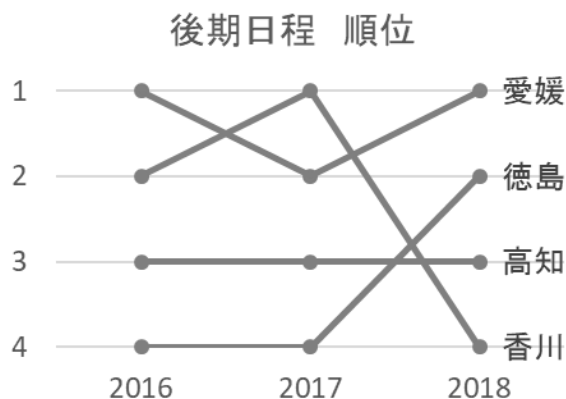
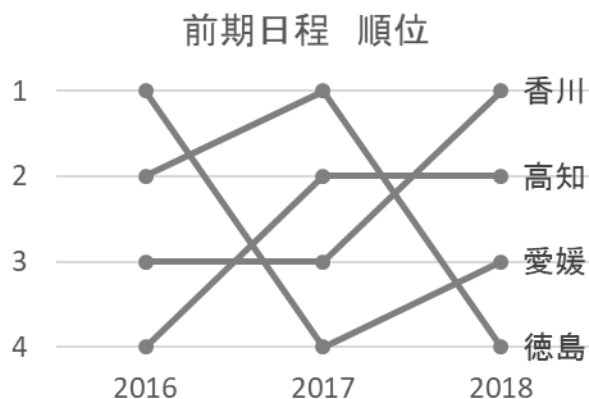
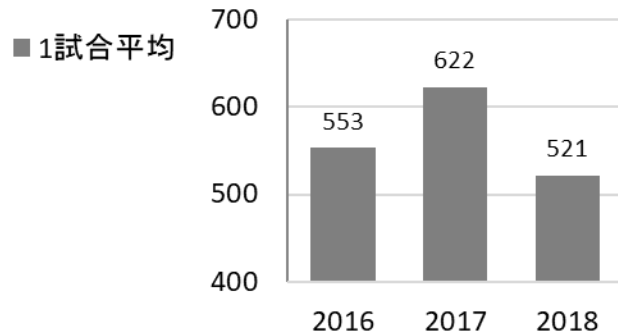
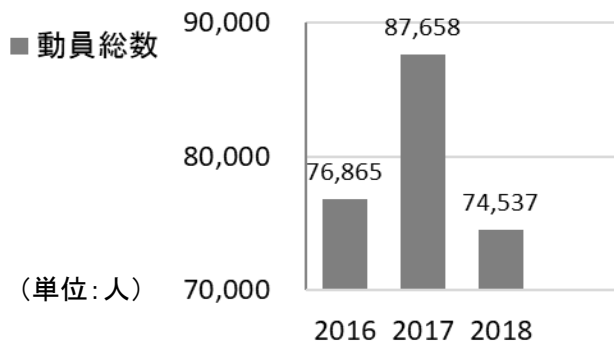
■概況：

収入



経常利益





■ プレーオフ優勝チーム

CS 2016・・・愛媛 2017・・・徳島 2018・・・香川
 GCS 2016・・・(群馬) 2017・・・徳島 2018・・・(群馬)

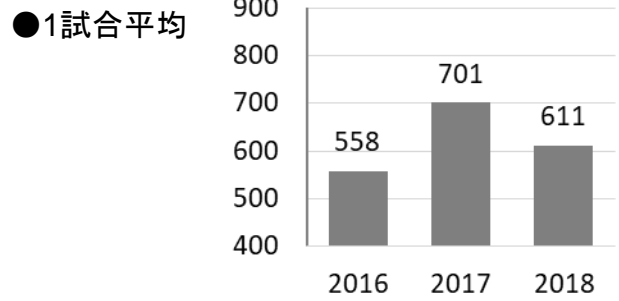
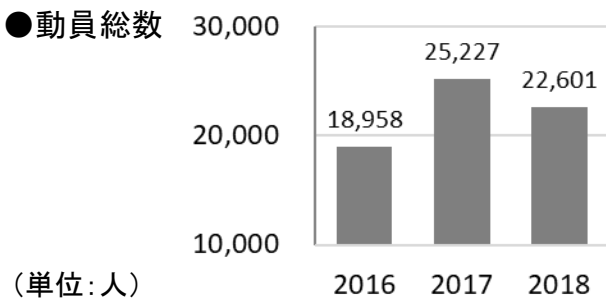
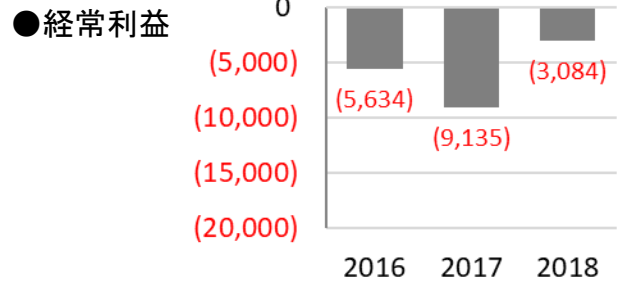
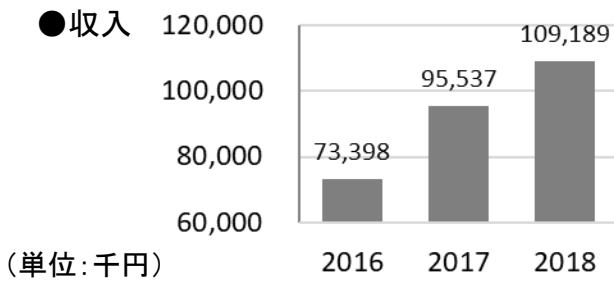
■ 2018年度ノトピックス 【抜本的な組織改革及び経営基盤の整備】

1. リーグ理事会、取締役会の役割を明確化し、議論を活性化
2. 過去の債権債務関係を整理し、経営基盤を整備
3. 次年度に向けた営業に集中した結果、リーグ単体では11年ぶりとなる新規大型パートナー契約を締結
4. JTBとの連携によるインバウンド誘致事業において徳島のみで1000泊以上の誘致に成功
5. リーグ主導によるアカデミー事業が順調に伸張(香川のみでスクール生30名→140名)
6. 新規導入されたデータ入力システムを活用し、全試合で一球速報を配信
7. 3人制プロバスケットチーム結成(徳島)、キャリアデザインセンター創設等、新たな施策を展開
8. リーグ創設から14年連続でNPBへ選手輩出(ただし、育成指名1名のみ)
9. 公式記録の管理体制が安定化
10. 1試合の平均試合時間は2時間57分(昨年比1分短縮)

■ 2019年度ノシーズン展望 【次なるステージに向けた攻めの運営】

1. 資本の再構成、外部人材の積極登用を含めた更なる経営基盤強化
2. 外部組織(国、地方自治体、企業、研究機関、他競技団体等)との積極連携による新規事業の創出
3. 球団・リーグが一体となり、リーグビジネスを展開
4. 3年ぶりに北米遠征を実施(注目度の高い複数の新規イベント、新規事業展開、国際ルートの強化)
5. 育成システムの再整備(中断期間の短縮、代表チーム強化、IT導入、データ分析、研究機関等との連携)
6. アカデミー事業の拡大(愛媛、徳島で新規展開)
7. 一部7インニング制の公式戦を導入するなど、独自の取り組みを強化

- 球団名：香川オリーブガイナース
- 運営会社名：香川オリーブガイナース球団株式会社
- 代表者名：三野 環
- 社員数：5名
- 主要株主：(株)サクセス、(株)ヘンミ、(有)XING WEI
- 主要スポンサー名：(株)セイア、(株)三祥、(株)フソウ
- NPB輩出実績：ドラフト指名24名、外国人移籍2名
- チーム成績(2018年度)：前期…優勝 後期…4位 プレーオフ…総合優勝
- 概況：



※ ホーム最多動員 1,422人【9/23 vs愛媛マンダリンパイレーツ@レクザムボールパーク丸亀】

■2018年度／トピックス

- ①6年ぶり総合優勝を達成。
- ②臨時コーチに川崎憲次郎氏を就任。
- ③集客の多い巨人戦2試合が雨天中止となったため、収入・集客ともに大きな痛手となった。

■2019年度／シーズン展望

- ①役員の人事改正。
- ②選手契約の仕組みを見直し、セカンドキャリアの充実化を図る。
- ③アカデミー事業を開始。

■球団名：高知ファイティングドッグス

■運営会社名：株式会社高知犬

■代表者名：山本 裕司

■社員数：4名

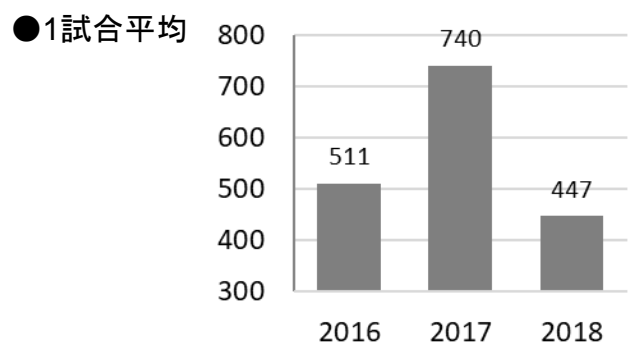
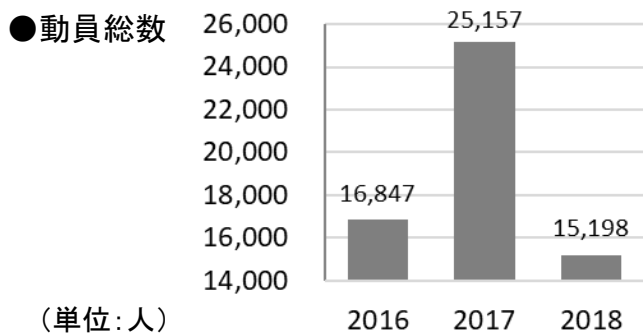
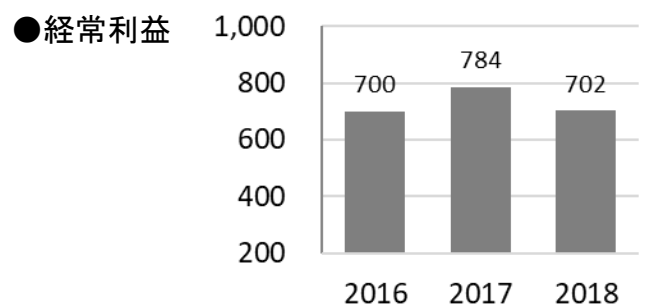
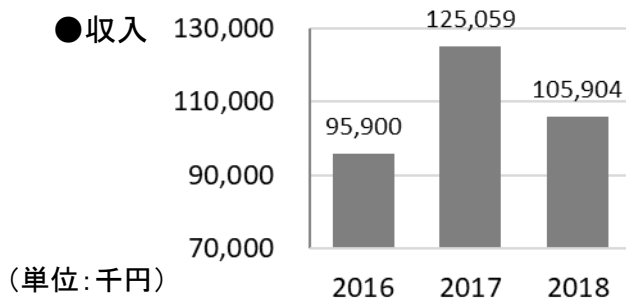
■主要株主：アクト不動産(株)、(株)日本トリム

■主要スポンサー名：(株)日本トリム、(株)セイアホールディングス、和光ホームズ(株)

■NPB輩出実績：ドラフト指名6名、移籍1名、外国人移籍1名

■チーム成績(2018年度)：前期・・・2位 後期・・・3位

■概況：



※ ホーム最多動員 2,012人【6/2 vs読売巨人軍3軍@高知球場】

■2018年度／トピックス

- ①平均入場者数は大幅減したが、ホーム最多動員数は昨年より多い2,012人となった。
- ②海外との交流事業(キャンプ、指導者研修など)。
- ③駒田監督プロデュースのバーをオープン。
- ④2014年より5期連続黒字決算見込み。

■2019年度／シーズン展望

- ①2009年以来の日本一、2011年以来のNPBドラフト指名を目指す。
- ②海外からの交流事業の確立。
- ③3月1日より経営陣の変更(社長交代)。
- ④6期連続黒字を目指す。

■球団名：愛媛マンダリンパイレーツ

■運営会社名：愛媛県民球団株式会社

■代表者名：薬師神 績

■社員数：9名(出向その他社員含)

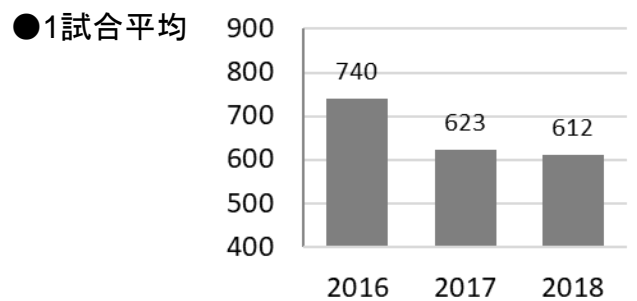
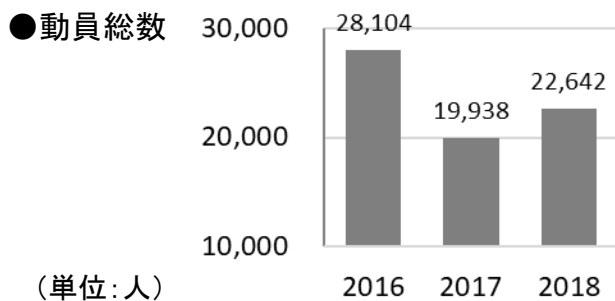
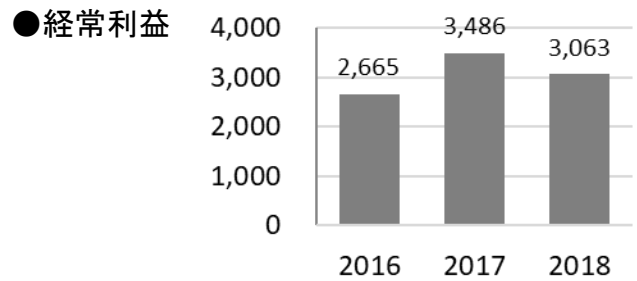
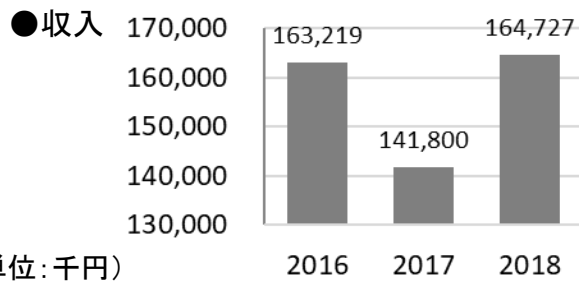
■主要株主：愛媛県、県内20市町、(株)愛媛銀行、大王製紙(株)、星企画(株)

■主要スポンサー名：(株)愛媛銀行、大王製紙(株)、(株)ビージョイ、太陽石油(株)、(株)フジ

■NPB指名実績：ドラフト指名7名、復帰1名

■チーム成績(2018年度)：前期…3位 後期…1位

■概況：



※ ホーム最多動員 2,708人【8/25 vs香川オリーブガイナース@坊っちゃんスタジアム】

■2018年度／トピックス

- ①観客動員数は微減となったが、地域貢献活動の実施で県民球団としての存在感を高めることができた。
- ②NPBスタッフへのセカンドキャリア。海外リーグ(コロンビア)への選手派遣。
- ③2012年度より7期連続黒字決算予測。

■2019年度／シーズン展望

- ①減少した後援会員を集中営業し、経営の安定化と8期連続黒字を目指す。
- ②ドラフト指名選手の輩出を目指す。
- ③愛媛－台湾直行便就航に伴い、台湾野球チームとの交流を強化。

■球団名：徳島インディゴソックス

■運営会社名：株式会社パブリック・ベースボールクラブ徳島

■代表者名：南 啓介

■社員数：3名

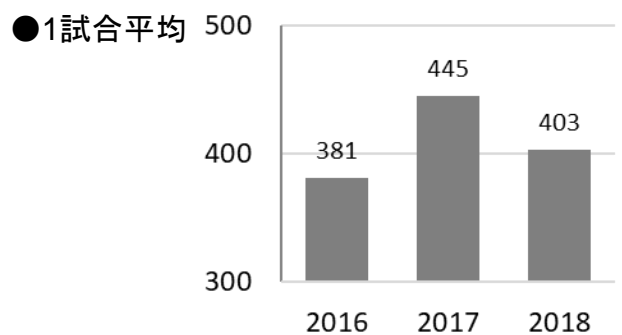
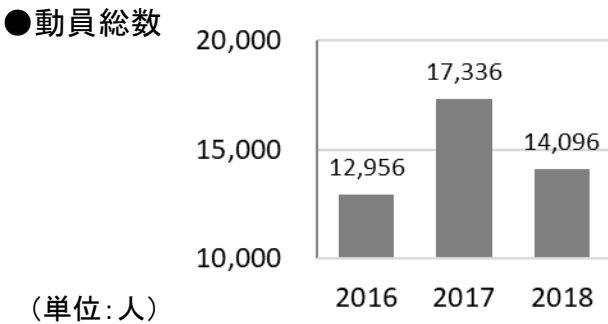
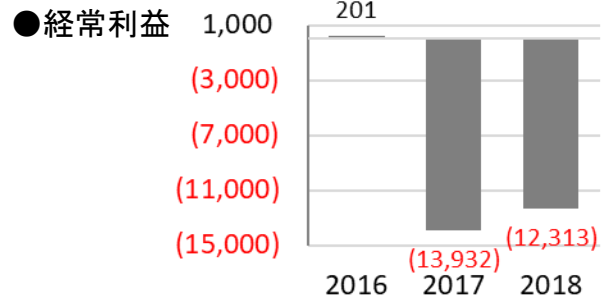
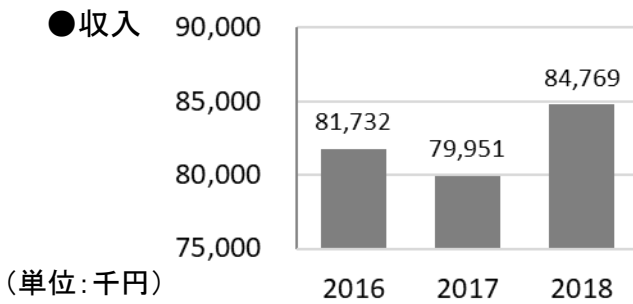
■主要株主：(株)明和クリーン、(株)Wood Stock、(株)あしたのチーム、ほけんショップミヨシ

■主要スポンサー名：(株)セイア、(株)ワークスタッフ、阿波製紙(株)、ゆめタウン徳島、徳島トヨペット(株)

■NPB輩出実績：ドラフト指名15名、外国人移籍2名

■チーム成績(2018年度)：前期・・・4位 後期・・・2位

■概況：



※ ホーム最多動員 1,588人【9/2 vs読売巨人軍3軍@JAバンク徳島スタジアム】

■2018年度／トピックス

- ①選手育成プログラムの確立。
- ②NPBドラフトにて指名1名(鎌田投手千葉ロッテマリーンズ育成1巡目)。
- ③韓国ドラフトにて指名1名(ハ・ジェフン投手SKワイバーズ2巡目指名)。
- ④インバウンドによる合宿誘致事業 3本 延べおよそ1,000泊を実現。
- ⑤阿波市との農業PR取り組み開始。
- ⑥県協力による県民dayの試合を実施による動員数増。

■2019年度／シーズン展望

- ①昨年に引続き、インバウンド事業の拡大。
- ②県内地場産業との業務提携を行い、共に盛り上げていく。
- ③選手育成プログラムの強化(選手個々人に合う食とトレーニングの提供)。